

「家がいいね」 第240号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2024. 5. 15



岐阜県郡上市に芝桜の名所があります。國田家の婆さん手製の芝桜を、子孫隣家を守り育て、盛り短い時期も含めて、明宝の地域文化です。この型枠はカメラのため置かれました。遊び心も、のどかなものです。

伝えることは、日々の中に・・・

私の故郷、郡上八幡は、4月に古式な大神楽が、城下町を回ってきます。60年ぶりに観て、伝統を実感しました。荒ぶる獅子を三人の童子が鎮めるのが、小学生の私が憧れた姿でした。おカメやヒヨットコは道化役です。大神楽夜の納めは男親



が童子たちを肩車して、激しい男舞いを果てる間もなく踊りきりました。子に託す親の思いでした。父の従兄の佐藤嘉一郎は全盲でしたが、横笛の達人だったと記憶します。祖父の遠藤太郎兵衛は晩年寝たきりで、岐阜市に引き取り介護していましたが、9月の或る日、



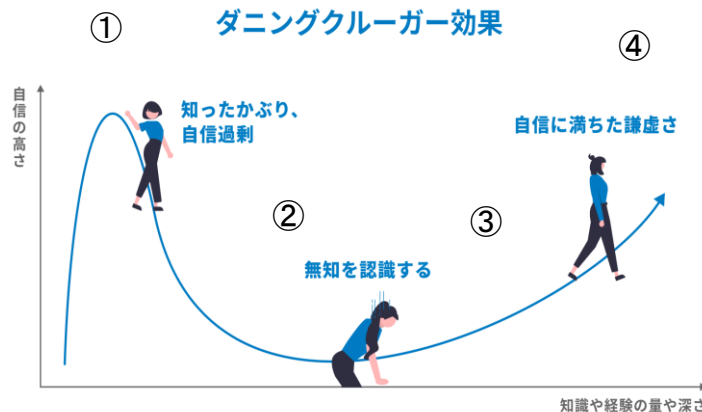
父たちが遠路の車に乗せ、懐かしい郡上八幡の家に連れて行きました。隣人との再会を心より喜び帰りの車に乗り込んだ所で何と、こと切れました。54歳で満蒙開拓団の先導をして、命からがら帰国し、静かな生活を営んでいた祖父は、幸せな最期を故郷で迎えたのだと思います。

自己肯定感だけでもねえ・・・

確かに自信は必要なのですが、過剰なのは困ります。「能力の低い人ほど、自分は素晴らしいと思いつつ」傾向があるらしく、研究が図になっているので示します。

①は、閉鎖集団の中で「お山の大将」としてアルアルです。②は個人的な深い内省につながれば、再生経験として③④に至れます。しかし狭き門でしょうね。

- ①馬鹿の山 (少々の知識経験を得て、自信満々)
- ②絶望の谷 (知識の深さを知り、自信を失う)
- ③啓蒙の坂 (成長を感じ、新たな自信を得る)
- ④継続の大地 (適切な自己評価と、謙虚な自信)



5月前半は、ご迷惑をお掛けしました

4月末からの咽頭炎をこじらせて肺炎となり、連休明けまでは外出もできませんでした。まだ回復途中ですのでご容赦下さい(遠藤)



自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御園町高向 927
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105
メール homecare@kr.tcp-ip.or.jp
<https://isezaitaku.com>



→バックナンバー閲覧可